

令和7年4月期 横浜市感染症発生動向調査委員会報告

《今月のトピックス》

- 百日咳の報告が大変多くなっています。
- 麻しんの報告がみられます。
- 梅毒は20歳代～50歳代を中心に幅広い年齢層で患者が多く発生しており、引き続き注意が必要です。
- 感染性胃腸炎の報告数は多い状態が続いています。
- 伝染性紅斑の報告が再び増加しています。

◇ 全数把握の対象 <2025年3月24日～4月20日に報告された全数把握疾患>

腸管出血性大腸菌感染症	4件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2件
A型肝炎	2件	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1件
デング熱	1件	侵襲性肺炎球菌感染症	14件
レジオネラ症	1件	水痘（入院例に限る）	2件
アメーバ赤痢	2件	梅毒	30件
ウイルス性肝炎	1件	百日咳	76件
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	4件	麻しん	1件

1. **腸管出血性大腸菌感染症**:40歳代～70歳代で、O血清群はいずれも不明です。感染経路等も不明です。
2. **A型肝炎**:40歳代及び70歳代（ワクチン接種歴無1件、不明1件）で、経口感染と推定される報告が1件、感染経路等不明の報告が1件です。
3. **デング熱**:20歳代で、デング出血熱です。蚊からの感染（インドネシア）と推定されています。
4. **レジオネラ症**:90歳代で、肺炎型です。感染経路等は不明です。
5. **アメーバ赤痢**:50歳代及び60歳代で、いずれも腸管アメーバ症です。感染経路は、性的接触と推定される報告が1件、感染経路等不明の報告が1件です。
6. **ウイルス性肝炎**:50歳代で、B型肝炎（ワクチン接種歴無）です。感染経路は性的接触と推定されています。
7. **カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症**:50歳代～80歳代で、医療器具関連感染と推定される報告が1件、院内感染と推定される報告が1件、以前からの保菌と推定される報告が1件、感染経路等不明の報告が1件です。
8. **劇症型溶血性レンサ球菌感染症**:40歳代及び50歳代で、血清型はA群が1件、B群が1件です。創傷感染と推定される報告が1件、感染経路等不明の報告が1件です。
9. **侵襲性インフルエンザ菌感染症**:30歳代（ワクチン接種歴無）で、感染経路等不明です。
10. **侵襲性肺炎球菌感染症**:10歳未満～90歳代（ワクチン接種歴4回1件、1回1件、無7件、不明5件）で、飛沫・飛沫核感染と推定される報告が5件、接触感染と推定される報告が1件、その他の感染経路と推定される報告が1件、感染経路等不明の方向が7件です。
11. **水痘（入院例に限る）**:10歳代及び80歳代（ワクチン接種歴2回1件、1回1件）で、飛沫・飛沫核感染と推定される報告が1件、感染経路等不明の報告が1件です。
12. **梅毒**:20歳代～60歳代で、早期顕症梅毒Ⅰ期11件、早期顕症梅毒Ⅱ期10件、晩期顕症梅毒1件、無症状病原体保有者8件です。性的接触による感染と推定される報告が29件（異性間20件、詳細不明9件）、感染経路等不明が1件です。
13. **百日咳**:10歳未満～80歳代（ワクチン接種歴5回2件、4回47件、3回2件、無1件、不明24件）で、家族内感染と推定される報告が21件、周囲の流行と推定される報告が6件、感染経路等不明の報告が49件です。
14. **麻しん**:20歳代（ワクチン接種歴2回）で、海外（オランダまたはノルウェー）での飛沫・飛沫核感染と推定されています。

この報告とデータの詳細については、下記に掲載されていますので、ご参照ください。

横浜市衛生研究所ウェブページ

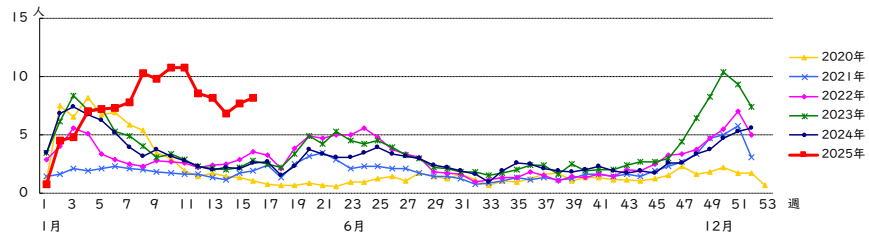
URL: <https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryo-fukushi/kenko-iryo/eiken/>

◇ 定点把握の対象

報告週対応表	
2025年第13週	3月24日～3月30日
第14週	3月31日～4月6日
第15週	4月7日～4月13日
第16週	4月14日～4月20日

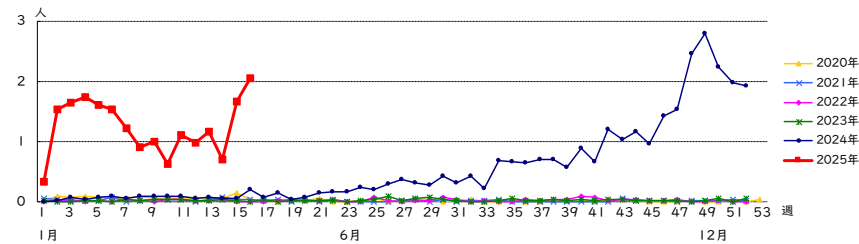
1 感染性胃腸炎

2025年第2週(1月6日～1月12日)以降増加し、第10週(3月3日～3月9日)にピークを迎えました。以降減少傾向に転じたものの、例年の同時期よりも高い値で推移しています。第16週は8.41です。



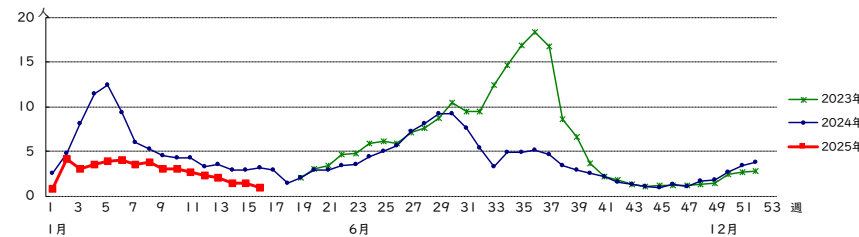
2 伝染性紅斑

2024年第49週(12月2日～12月9日)にピークを迎えました。2025年第5週以降減少傾向に転じていましたが、第15週以降再び増加しています。第16週は2.04です。



3 新型コロナウイルス感染症

2025年第3週(1月13日～1月19日)以降、概ね横ばいから緩やかな減少傾向に転じています。第16週は0.91です。



4 性感染症(2025年3月)

性器クラミジア感染症	男性:26件	女性:19件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:9件	女性:4件
尖圭コンジローマ	男性:16件	女性:0件	淋菌感染症	男性:11件	女性:3件

5 基幹定点週報

	第13週	第14週	第15週	第16週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.33	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.33	0.67	0.00	1.33

6 基幹定点月報(2025年3月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	6件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	-	-